

第35回 全国社会人躰道優勝大会



日時 令和8年9月13日(日)

会場 所沢市民武道館

主催: NPO法人日本躰道協会 公認: 一般社団法人日本武藝躰道本院



ご 挨拶

九州は熊本を震源とする大地震、東から西へと異例のルートを辿り関東へと上陸した台風、それに続く記録的豪雨による水害等、列島を襲う災から暑さに耐えながらの避難生活を送り非日常生活を余儀なくされている皆さまへ心よりお見舞いを申し上げます。その様な最中、跆拳道におきましては、7月に行われた県立武道館での第47回少年少女、並びに第44回高校生の全国跆拳道優勝大会開催に続き、埼玉県での全国社会人優勝大会を開催させていただきますが、この事へのご理解を賜り、ご支援を頂いている関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

2026年は夏のアトランタ（米国）を訪れ、日本協会々員の皆さんと共に彼の地で今も続く跆拳道の50周年記念行事に参加しました。人種の坩堝と呼ばれ、地球の裏側に位置するジョージア州で日本の武道として今も活動が続けられている現場を直に拝見し、ネットで世界が繋る以前に国際交流についてその意識が跆拳道に芽生えたのは今日まで続く北米とヨーロッパでの活動に起因していることを再確認しました。ヨーロッパ系にせよアフリカ系にせよアジア系にせよ、母国語の違いを独立と建国の精神を共通ルールに開拓された大国で、創始者の跆拳道が成功だったか否か、まだまだ発展途上であるのかどうか、今の立場から昨年の最高師範生誕100年の折に改めて振り返ったということを50周年記念式典の場でお話しさせていただきました。

社会的に秀でた高弟の先生方による活動が認められ、その貢献に恵まれたお陰があって今の跆拳道の土台が築かれたのですが、21世紀を既に迎えた跆拳道が22世紀まで続いて行くためには、簡単には伝えきれない高度なJapan Qualityについて考えなければいけないと思いました。

専門的な知識やスキルは当然のこと、言語化されたセオリーとマニュアルで繋る優良な組織体が一方的な発信ではなく相互理解の為の双方向性を備えたものであることが望まれます。各道場での決まり事があり、各国ごとの決まり事があり、地域社会からのご厚意を受け皆さんが歩んで来られた道が跆拳道の足跡です。合理性や不屈の精神だけでは乗り切れない課題を超マイノリティから始まった跆拳道フロンティアの原点に温め、憧れの日本と各国のニーズが相互に作用する交流により跆拳道スタンダードを定めて頂きたい。侵略や紛争が国家間だけの問題ではなく、一個人の歩き回れる範囲での安全や快適さに始まり、循環する社会や生命の連続性において不適切なものが自然に淘汰される事実からも、自らの役割が果たすべきものへの意識を高めたいと思います。来年の夏には北欧スウェーデンで第9回世界跆拳道選手権大会と国際親善大会が行われる予定ですが、ON-LINEで瞬時に繋がる時代のライブ体験の価値を再認識して頂ける方向性を期待します。

最後になりましたが、大会の無事成功をお祈りし、ご挨拶とさせていただきます。

令和8年9月

日本武藝跆拳道三代宗家
祝 嶺 正 献

ご挨拶

第35回全国社会人躰道優勝大会の開催にあたり、ご参加の皆様にご心より感謝申し上げます。

さて、急速な技術の進歩や長引く経済環境の変化など、現代社会は依然として先行きが見通しにくく、私たちを取り巻く環境は日々厳しさを増しております。こうした時代だからこそ、目先の変化に惑わされることなく、自らの軸をしっかりと持ち、周囲と手を取り合って持続可能な未来を築いていく力が、私たち社会人に強く求められています。

躰道は、変化する状況に柔軟に適応しながらも、自らの軸を崩さない心身の運用を迫及する武道です。日々の修練を通じて培われる集中力や他者を尊重し共存を図る精神は、複雑化する現代社会を生き抜くための確かな指針となります。本大会を通じて、皆様が日頃の鍛錬の成果を遺憾なく発揮されるとともに、躰道が持つ社会に還元するという本質的な価値を、改めて社会へと発信していく契機となることを期待しております。

この大会が、切磋琢磨の場に留まらず、志を同じくする社会人としての絆を深め、未来への新たな活力を生み出す場となることを心より祈念いたします。

結びに、本大会の開催にあたり並々ならぬご尽力をいただきました関係各位に深く感謝申し上げますとともに、選手の皆様のご健闘と、本日ご参集の皆様の今後の更なるご飛躍を祈念いたしまして、挨拶いたします。

令和8年9月

第35回全国社会人躰道優勝大会

大会会長 山田重幸

大会役員

大会会長 山田重幸 [埼玉県躰道協会 副会長]

大会審判員 審判長 工藤善己

審判員	安部幸史郎	小松武	小林学	小林真由	内田航太
	北澤秀明	中野哲爾	板山宜弘	春日世生	小松万里子
	横山紀子	増岡智大	丹野喜美男	並木將志	鈴木史孝
	木間和也	永久保陽子	白倉繁	宇部真広	

大会実行委員会

委員長 小林大輔 [東京城西]

副委員長 小林誠弥 [埼玉県]

委員	山崎真瑛 [東京城東]	増岡智大 [神奈川県]
	千葉健志 [神奈川県]	宇野友季子 [東京城南]
	朴将文 [法政大学]	

医務 一條研太郎 [東京城東]

参加県・地区協会

北海道	山形県	宮城県	栃木県	茨城県
埼玉県	東京城北	東京城東	東京城南	東京城西
東京多摩	千葉県	神奈川県	新潟県	富山県
山梨県	静岡県西部	愛知県	大阪府	兵庫県
広島県	福岡県	沖縄県		

協力地区団体 東京城東地区躰道協会・東京城西地区躰道協会・東京城南地区躰道協会
東京多摩地区躰道協会・埼玉県躰道協会・神奈川県躰道協会・千葉県躰道協会

大 会 次 第

競 技

9 : 0 0 ~

【予選】

個人法形競技（男子の部）
個人法形競技（女子の部）
個人法形競技（級位の部）
個人法形競技（制の部）
個人法形競技（命 段位の部）

開 会 式

1 2 : 3 0 ~

国歌斉唱		
大会宣言	小林 大輔	[大会実行委員長]
大会会長挨拶	山田 重幸	[埼玉県躰道協会 副会長]
宗家挨拶	祝嶺 正献	[日本武藝躰道宗家]
最高師範杯返還	木勢 茉莉	[東京城西地区躰道協会]
来賓挨拶・紹介		
選手宣誓	塚中 久代	[東京多摩地区躰道協会]
躰道五条訓	齋藤 健太	[東京城南地区躰道協会]
審判団紹介		

競 技

1 3 : 0 0 ~

【予選】

個人実戦競技（男子・女子・壮年）
個人法形競技（新人・級位の部）

【決勝戦・3位決定戦】

団体法形競技

団体展開競技

個人法形競技（命 級位の部）
個人法形競技（命の部）
個人法形競技（制の部）
個人法形競技（新人の部）
個人法形競技（級位の部）
個人法形競技（女子の部）
個人法形競技（男子の部）
壮年実戦競技（女子の部）
壮年実戦競技（男子の部）
個人実戦競技（女子の部）
個人実戦競技（男子の部）

閉 会 式

1 6 : 4 5 ~

入賞者表彰		
大会講評	工藤 善己	[大会審判長]
閉会宣言	小林 誠弥	[大会副実行委員長]

【第35回全国社会人剣道優勝大会 時程表 午前】

【入館】8:00～ ※8:00より入館可ではございますが、役員・審判を優先といたしますこと御了承下さい。当日は役員の誘導・指示に御協力をお願いいたします。

【審判・役員 打ち合わせ】8:15 【審判諸注意】8:45 【予選開始】9:00 ※状況のより前後する可能性ございます事、ご了承のほどお願いいたします。

9:00		9:30		10:00		11:00		12:00		12:30		13:00	
武道場	A コート 量	男子法形 11試合 1～5 22～25 38、39	女子法形 6試合 4～7 18、19	級位法形 7試合 1 3～6 19、20	制の法形 4試合 4、5 12、13	命 有段者 4試合 3、4 10 13	級位法形 6試合 27、28、29、30 31、32		開 会 式				
	B コート 量	男子法形 12試合 6～11 26～29 40、41	女子法形 5試合 1～3 16、17	級位法形 6試合 7～10 21、22	制の法形 5試合 1～3 10、11	命 有段者 4試合 7、8 12 14	女子法形 6試合 24、25、26、27 28、29						
	C コート 量	男子法形 11試合 12～16 30～33 42、43	女子法形 6試合 8～11 20、21	級位法形 6試合 11～14 23、24	制の法形 4試合 6、7 14、15	命 有段者 3試合 1、2 9 ※9勝者 Aコートへ	制の法形 6試合 18、19、20、21 22、23						
	D コート 量	男子法形 11試合 17～21 34～37 44、45	女子法形 6試合 12～15 22、23	級位法形 7試合 2 15～18 25、26	制の法形 4試合 8、9 16、17	命 有段者 3試合 5、6 11 ※11勝者 Bコートへ	男子法形 6試合 46、47、48、49 50、51						

【実戦競技の延長に関して】個人実戦における3決・決勝のみ有り(壮年含む)。延長は1試合1回のみとし、延長時間は原則1分間とする。

【実戦競技の競技時間】段位の部: 予選・3決・決勝含め全て1分30秒 壮年の部: 予選1分、3決・決勝1分30秒

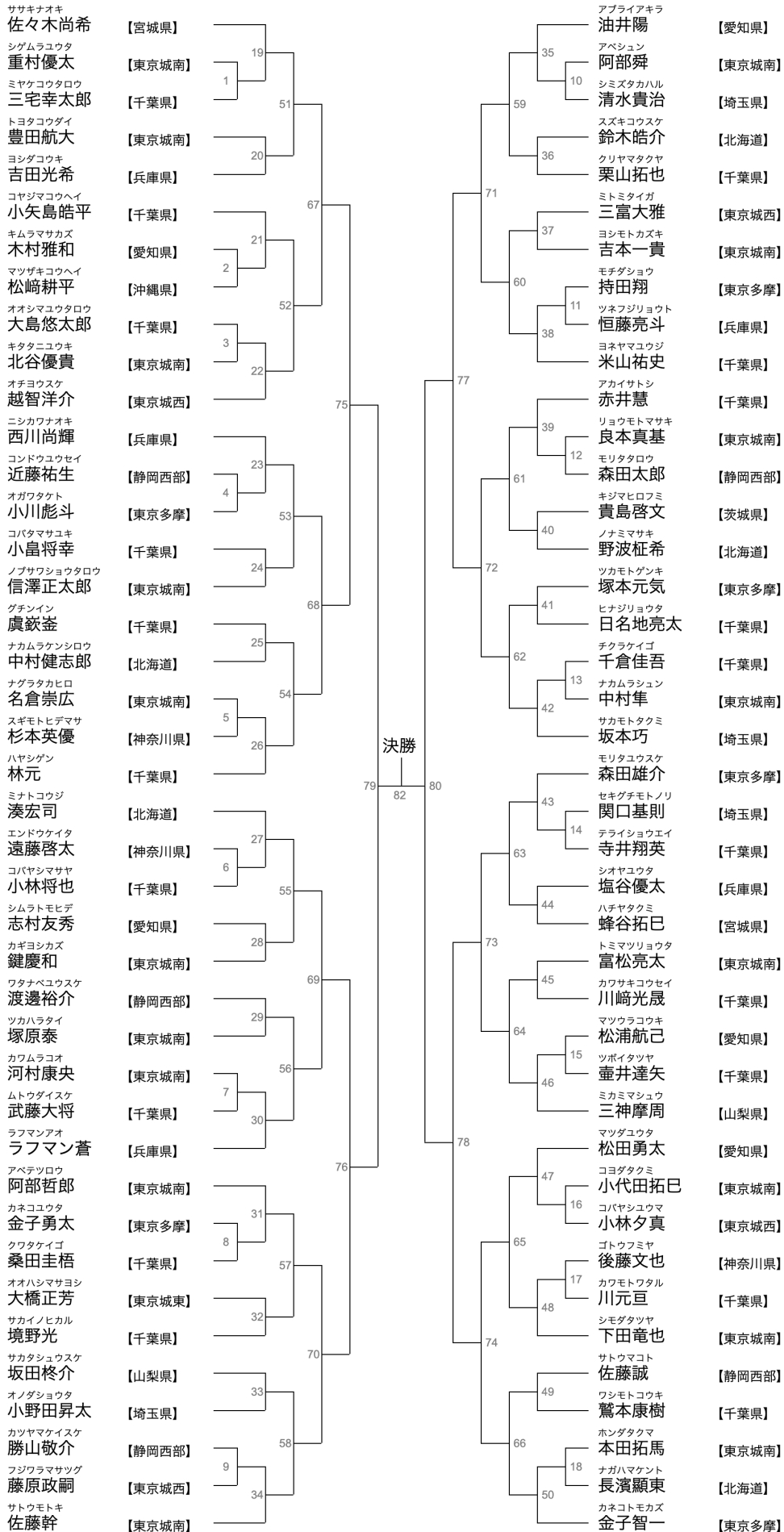
【第35回全国社会人剣道優勝大会 時程表 午後】

		13:00		14:00		15:00		16:00		16:30		17:00		17:15		17:25	
開 会 式	A コ ー ト 量	男子実戦 10試合 1～3 19～22 51、52、67	男子実戦 9試合 10、11 35～38 59、60、71	女子実戦 6試合 1～3 13、14 21	壮年実戦 男子 4試合 1 8、9 16	男子実戦 3試合 75、76 79	団体展開 4チーム 1 千葉県A 2 東京城東 3 千葉県B 4 神奈川県		個人法形 決勝戦 男子法形 53 女子法形 31 命 有段 16 制 法形 25	個人法形 決勝戦 命 級位 8 級位法形 34 新人法形 9	個人実戦 決勝戦 壮年女子 4 女子実戦 28 壮年男子 23 男子実戦 82		閉 会 式			撤 去	
	B コ ー ト 量	男子実戦 9試合 4、5 23～26 53、54、68	男子実戦 9試合 12、13 39～42 61、62、72	女子実戦 6試合 4～6 15、16 22	壮年実戦 男子 5試合 2、3 10、11 17	男子実戦 3試合 77、78 80	団体法形 7チーム 1 埼玉県 5 新潟県 2 東京城東 6 東京城南A 3 東京城南B 7 千葉県B 4 千葉県A	個人法形 三位決定戦 男子法形 52 女子法形 30 命 有段 15 制 法形 24	個人法形 三位決定戦 命 級位 7 級位法形 33 新人法形 8	個人実戦 三位決定戦 壮年女子 3 女子実戦 27 壮年男子 22 男子実戦 81							
	C コ ー ト 量	男子実戦 9試合 6、7 27～30 55、56、69	男子実戦 9試合 14、15 43～46 63、64、73	女子実戦 6試合 7～9 17、18 23	壮年実戦 男子 5試合 4、5 12、13 18	女子実戦 2試合 25、26	命 級位 3試合 1、2 5	新人法形 4試合 1、2、3 6									
	D コ ー ト 量	男子実戦 9試合 8、9 31～34 57、58、70	男子実戦 10試合 16～18 47～50 65、66、74	女子実戦 6試合 10～12 19、20 24	壮年実戦 男子 5試合 6、7 14、15 19	壮年実戦 女子/男子 2試合/2試合 女子 1、2 男子 20、21	命 級位 3試合 3、4 6	新人法形 3試合 4、5 7									

【撤去】閉会式終了後に撤去(畳上げ含む)を行います。

※18:00退館できるようご協力のほどよろしくお願いいたします。

個人実戦競技(男子の部)



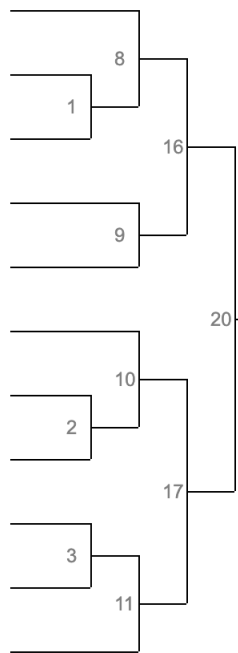
個人実戦競技(女子の部)



個人実戦競技(壮年の部) 男子

コノマカズノリ
木間一紀
ワタナベシンイチロウ
渡辺伸一郎
ヤマダダイスケ
山田大輔
スギムラカズユキ
杉村和之
ドイミツジ
土井光司
ワタナベユウタ
渡辺祐太
ナカタニヤスシ
中谷靖
ナカイシュウイチ
中井秀一
カトウヒロユキ
加藤博之
オオタヒロシ
太田寛
チバケンジ
千葉健志

【新潟県】
【埼玉県】
【千葉県】
【静岡西部】
【長野県】
【新潟県】
【兵庫県】
【埼玉県】
【静岡西部】
【東京多摩】
【神奈川県】



決勝

三決

22

ナカジマショウヘイ
中嶋尚平
スギウラリョウタ
杉浦良太
ホンダノブヒト
本田信仁
ナカジマタケシ
仲嶋武
ツカナカタダノリ
塚中正法
ムラタテツヒコ
村田哲彦
ホリゴメリョウタ
堀米遼太
キムラヒデノリ
木村英憲
エノモトイタル
榎本至
ニノミヤケン
二ノ宮健
ナカノヒロユキ
中野博之
オオエジュン
大江潤

【東京城北】
【神奈川県】
【新潟県】
【長野県】
【東京多摩】
【東京城東】
【東京多摩】
【長野県】
【千葉県】
【埼玉県】
【静岡西部】
【神奈川県】

個人実戦競技(壮年の部) 女子

ツカナカヒサヨ
塚中久代
タダミチコ
多田倫子

【東京多摩】
【東京城南】



決勝

4

オオハシユキエ
大橋友紀恵
ウチムラエツコ
内村悦子

【東京城東】
【静岡西部】



三決

3



個人法形競技(男子の部)

決勝

左側 (Left Side):

- 1st Round: 石井元樹 (東京城南) vs. 大橋正芳 (東京城東) [1]; 武藤大将 (千葉県) vs. 杉本英優 (神奈川県) [2]; 小代田拓巳 (東京城南) vs. 吉田光希 (兵庫県) [3]; 加藤博之 (静岡西部) vs. 河村康央 (東京城南) [4]; 寺井翔英 (千葉県) vs. 三富大雅 (東京城西) [5]; 三神摩周 (山梨県) vs. 米山祐史 (千葉県) [6]; 下屋大輔 (東京城南) vs. 中村健志郎 (北海道) [7]; 小畠将幸 (千葉県) vs. 岩間巧 (宮城県) [8]; 塚原泰 (東京城南) vs. 川崎光晟 (千葉県) [9]; 渡邊裕介 (静岡西部) vs. 鍵慶和 (東京城南) [10]; 松田勇太 (愛知県) vs. 近藤祐生 (静岡西部) [11]; 清水貴治 (埼玉県) vs. 桑田圭梧 (千葉県) [12]; 杉浦良太 (神奈川県) vs. 山口海斗 (東京城南) [13].
- 2nd Round: 22 vs. 1; 38 vs. 2; 23 vs. 3; 24 vs. 4; 39 vs. 5; 25 vs. 6; 26 vs. 7; 40 vs. 8; 27 vs. 9; 47 vs. 10; 28 vs. 11; 41 vs. 12; 29 vs. 13.
- 3rd Round: 46 vs. 38; 39 vs. 25; 50 vs. 40.
- 4th Round: 53 vs. 51.

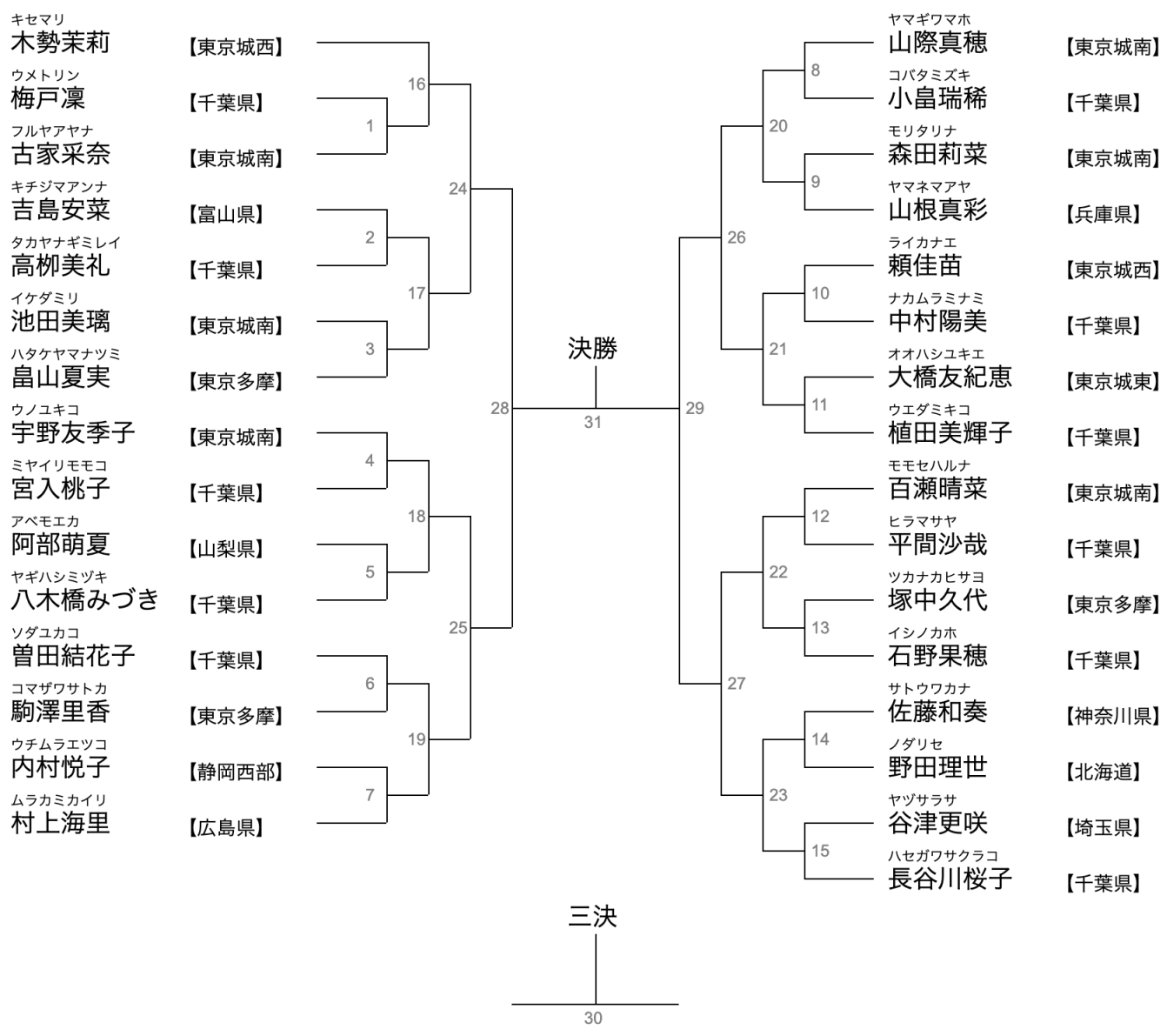
右側 (Right Side):

- 1st Round: 名倉崇広 (東京城南) vs. 小野田昇太 (埼玉県) [14]; 大越晴斗 (千葉県) vs. 中野博之 (静岡西部) [15]; 恒藤亮斗 (兵庫県) vs. 佐藤幹 (東京城南) [16]; 鷲本康樹 (千葉県) vs. 佐藤誠 (静岡西部) [17]; 後藤文也 (神奈川県) vs. 大島悠太郎 (千葉県) [18]; 石橋拓実 (東京城南) vs. 越智洋介 (東京城西) [19]; 小林将也 (千葉県) vs. 嶋本幸之助 (東京城南) [20]; 鐘江賢祐 (東京城南) vs. 川元亘 (千葉県) [21]; 日名地亮太 (千葉県) vs. 阿部哲郎 (東京城南) [22]; 西川尚輝 (兵庫県) vs. 阿部舜 (東京城南) [23]; 貴島啓文 (茨城県) vs. 勝山敬介 (静岡西部) [24]; 鈴木皓介 (北海道) vs. 松崎耕平 (沖縄県) [25]; 境野光 (千葉県) vs. 齋藤健太 (東京城南) [26].
- 2nd Round: 30 vs. 12; 42 vs. 13; 31 vs. 14; 32 vs. 15; 43 vs. 16; 33 vs. 17; 34 vs. 18; 44 vs. 19; 35 vs. 20; 49 vs. 21; 36 vs. 22; 45 vs. 23; 37 vs. 24; 21 vs. 25; 37 vs. 26.
- 3rd Round: 48 vs. 42; 43 vs. 33; 51 vs. 49.
- 4th Round: 53 vs. 51.

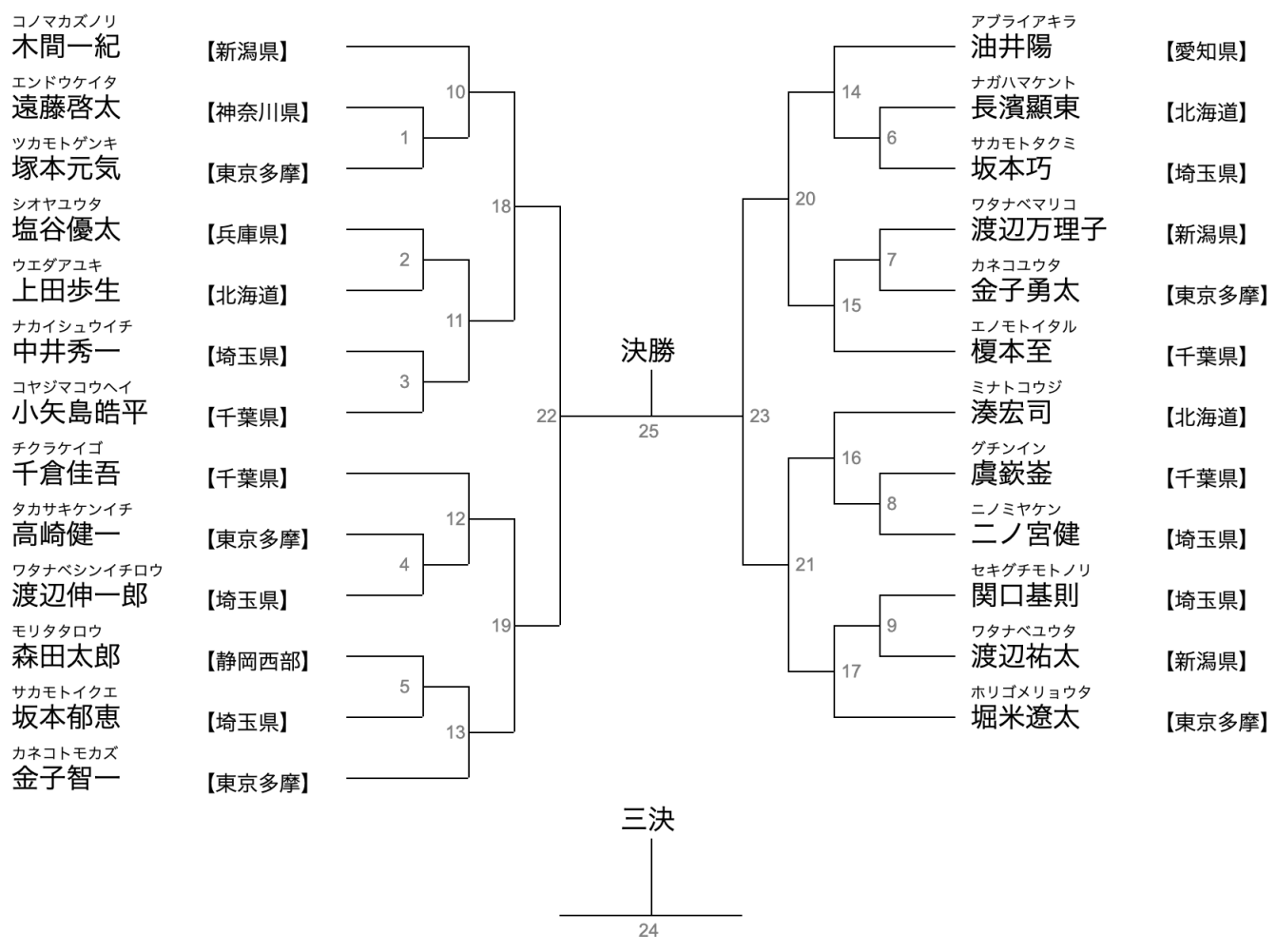
三決

52

個人法形競技(女子の部)



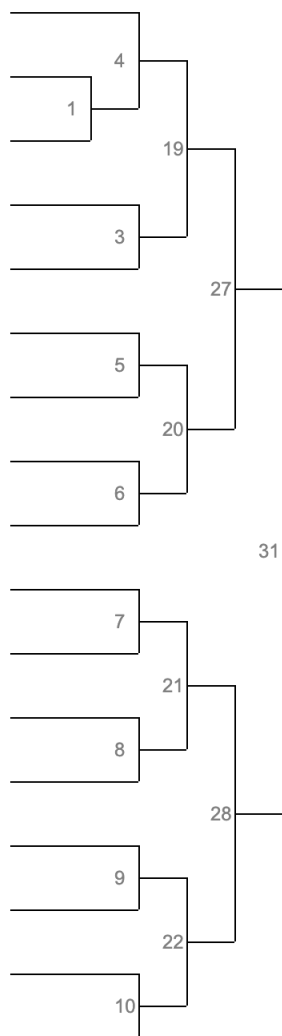
個人法形競技(制の法形)



個人法形競技(級位の部)

イトウマサヨシ
伊東真良
エンドウヒデカ
遠藤秀香
ハヤシショウゴ
林省吾
イマモトケンタ
今本健太
コイケユウガ
小池雄河
イシカワミノル
石川稔
ハラダユリ
原田祐梨
フルカワシホ
古川志歩
ホソダケンゴ
細田研吾
チョウソンジュン
趙誠俊
ワタナベナナコ
渡辺菜々子
イワヤトシアキ
岩谷俊亮
フジオカマサヒロ
藤岡正洋
オオモリエツコ
大森悦子
ヒラタコズエ
平田梢
アキヤマタカシ
秋山高志
ハセガワアミ
長谷川愛実

【千葉県】
【栃木県】
【東京城西】
【千葉県】
【東京城東】
【東京多摩】
【千葉県】
【新潟県】
【東京城西】
【千葉県】
【東京城西】
【東京多摩】
【東京城東】
【千葉県】
【埼玉県】
【静岡西部】
【東京城西】



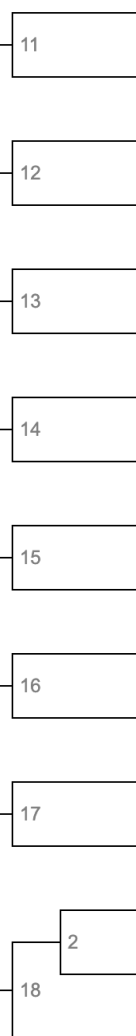
決勝

三決

33

ヤマギシユイ
山岸優衣
イザワリョウスケ
井澤遼祐
ヨシダヒデキ
吉田秀樹
サトウミユキ
佐藤美雪
オオハシサヤカ
大橋沙也香
イワセケンタロウ
岩瀬健太郎
コンドウヤスヨ
近藤康代
フクダキョウコ
福田恭子
ドウモリアユミ
堂森歩
テラジママコト
寺島真
オシカワミスズ
押川美鈴
スガヌマダイスケ
菅沼大輔
カゲヤマイクマ
蔭山生真
ヤマノクチシンジ
山之口新司
ニシクボタイジュ
西久保大樹
イシマツユキマサ
石松幸真
サトウヨシカツ
佐藤祐勝

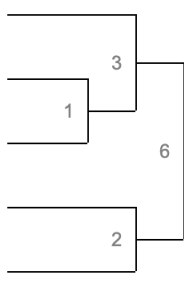
【千葉県】
【埼玉県】
【千葉県】
【新潟県】
【千葉県】
【東京城東】
【東京城西】
【神奈川県】
【東京城西】
【東京城東】
【千葉県】
【静岡西部】
【千葉県】
【東京城東】
【東京多摩】
【福岡県】
【東京城西】



個人法形競技(新人の部)

カツマタトシオ
勝亦俊夫
ワタナベアミ
渡邊亜美
ハスケイスケ
蓮圭祐
ナカダイアツシ
中代敦士
イイジマトオル
飯島徹

【東京城東】
【静岡西部】
【東京城西】
【東京城西】
【埼玉県】



決勝

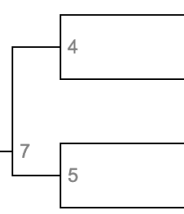
9

三決

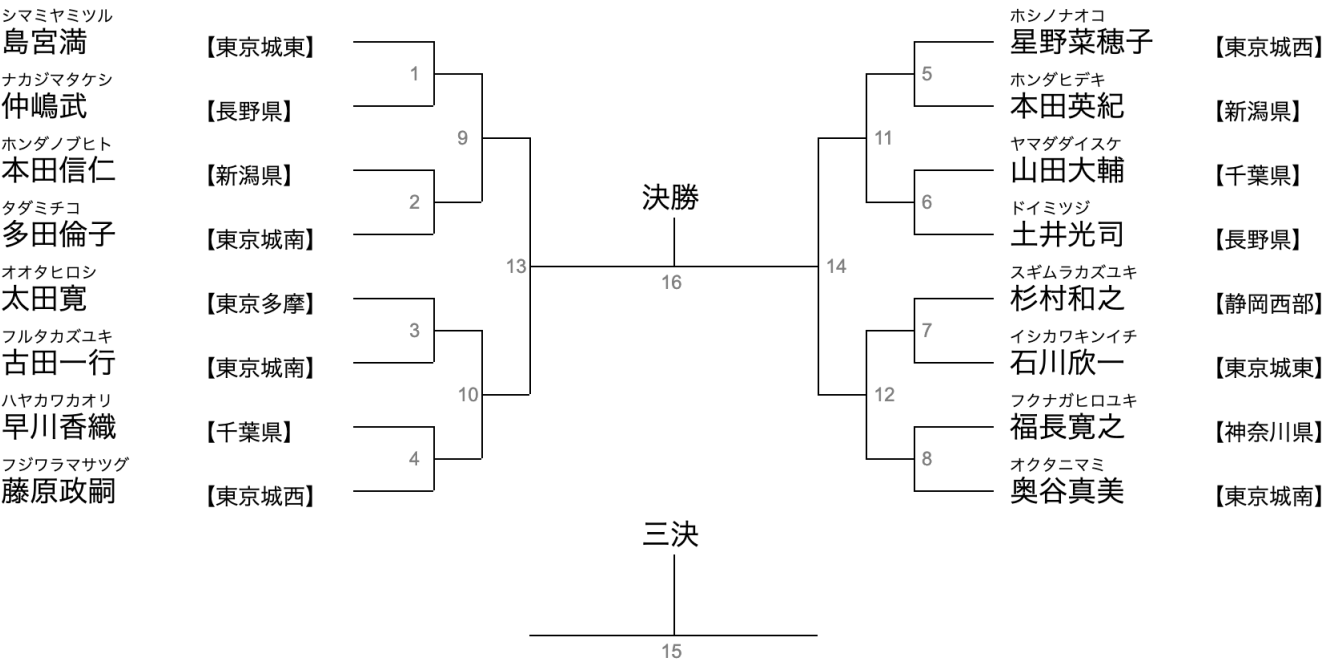
8

ナガオカアツミ
長岡敦美
サワダダイスケ
澤田大典
ママダハルカ
儘田遼華
スズキマサヒロ
鈴木公浩

【新潟県】
【千葉県】
【東京城西】
【静岡西部】



個人法形(命) 有段者の部



個人法形(命) 新人・級位の部

ヤマモトヨシエ

山本芳江

イマイコウイチ

今井浩一

タカハシヤスヒコ

高橋泰彦

タケダススム

武田進

【埼玉県】

【愛知県】

【千葉県】

【東京多摩】

1

5

2

決勝

8

三決

7

3

カワカミトモコ

川上智子

タカハシハヤト

高橋鋭人

タカハシダイスケ

高橋大祐

フクイジュン

福井順

【千葉県】

【神奈川県】

【東京城東】

【千葉県】

6

4

団体法形競技 7チーム

決 勝							
No.	団体名	主審	副審	副審	場外減点	合計得点	順位
1	埼玉県チーム						
2	東京城東チーム						
3	東京城南Bチーム						
4	千葉県Aチーム						
5	新潟県チーム						
6	東京城南Aチーム						
7	千葉県Bチーム						
優勝		第2位		第3位		第4位	

団体展開競技 4チーム

決 勝														
No.	団体名	主審	副審1	副審2	副審3	副審4	副審5	合計	タイム	時間減点	場外減点	開始減点	得点	順位
1	千葉県Aチーム													
2	東京城東チーム													
3	千葉県Bチーム													
4	神奈川県チーム													

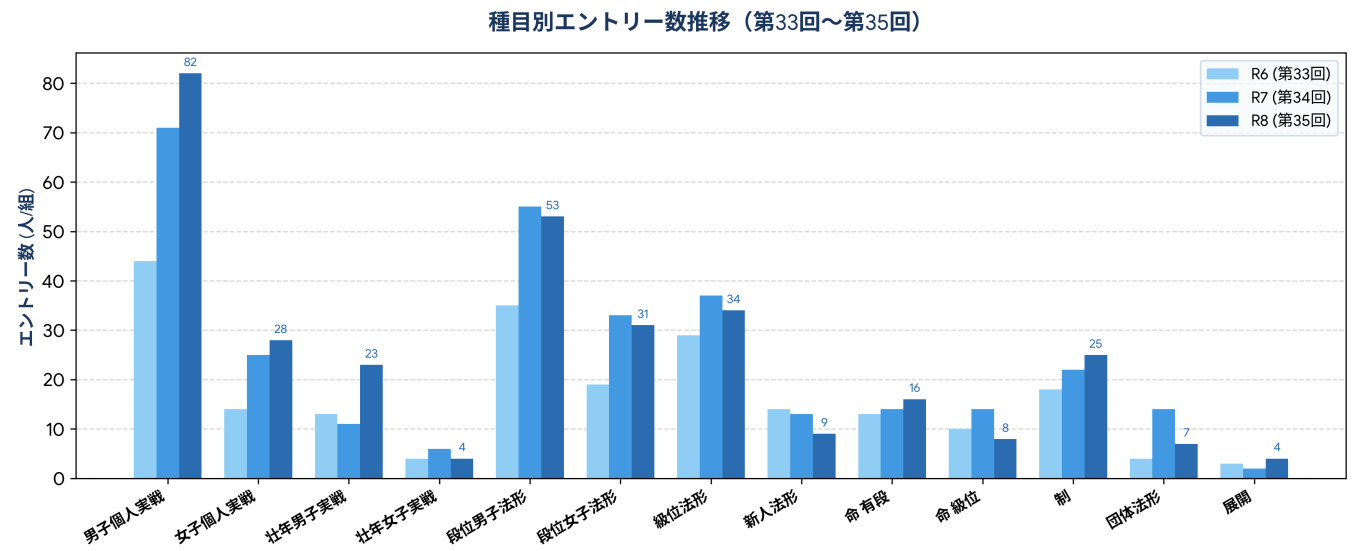
優勝	第2位	第3位	第4位

第35回 全国社会人大会 エントリー数推移

第33回（R6）～ 第35回（R8）エントリー比較およびR8前年比レポート

出場者総数（総エントリー人数）

R6: 144名 → R7: 200名 → R8: 224名（前年比+12.0%）



種目名	R6（第33回）	R7（第34回）	R8（第35回）	前年比（R8/R7）
男子個人実戦	44	71	82	+15.5%
女子個人実戦	14	25	28	+12.0%
壮年男子実戦	13	11	23	+109.1%
壮年女子実戦	4	6	4	-33.3%
段位男子法形	35	55	53	-3.6%
段位女子法形	19	33	31	-6.1%
級位法形	29	37	34	-8.1%
新人法形	14	13	9	-30.8%
命 有段	13	14	16	+14.3%
命 級位（新人）	10	14	8	-42.9%
制	18	22	25	+13.6%
団体系形	4	14	7	-50.0%
展開	3	2	4	+100.0%

※団体系形・展開の数値はエントリーチーム数を表します。

第35回全国社会人躰道優勝大会実施要項

本要項に基づき大会を実施致しますので、記載内容を踏まえて稽古、審査等をご計画頂き、各種目にエントリーして下さい。なお、「出場申込書」等の提出締め切りを厳守の上、積極的に参加されますようお願い申し上げます。

主 催： 特定非営利活動法人 日本躰道協会

日 時： 令和8年9月13日（日） ※9/12（土）設営

入館 【審判・役員・選手】8：00～ ※審判・役員の入館を優先致します。 予選開始 9：00

※運営の状況により開始時間が前後する場合がございますことご了承ください。

会 場： 所沢市民武道館

〒359-0002 埼玉県所沢市中富1614番地の2

<https://www.nem-shiteikanri.jp/shisetsu/tokorozawa-shiminbudokan/shisetsu/>

競 技 内 容:

	競技	構成	競技規定	出場資格
1	新人個人法形競技	男女同一	男子:旋体の法形 女子:旋陰の法形	無級
2	級位個人法形競技	男女同一	男子:体の法形 女子:陰の法形から自由選択	6級～1級
3	男子個人法形競技	男子	指定法形:捻体の法形のみ	初段以上
4	女子個人法形競技	女子	指定法形:捻陰の法形のみ	初段以上
5	命の法形競技(級位の部)	男女同一	1・2回戦:勢命の法形(表のみ)、3回戦以降:命の法形から自由選択(表裏)	無級～1級
6	命の法形競技(有段者の部)	男女同一	指定法形:活命の法形のみ	初段以上
7	制の法形競技	男女同一	指定法形:天制の法形のみ	初段以上
8	男子個人実戦競技	男子	予選・三決決勝含め1分30秒	初段以上
9	女子個人実戦競技	女子	予選・三決決勝含め1分30秒	初段以上
10	男子壮年実戦競技	男子	予選1分・三決決勝1分30秒	初段以上
11	女子壮年実戦競技	女子	予選1分・三決決勝1分30秒	初段以上
12	団体法形競技	1チーム5名 男女混合可	躰道の法形から選択	5級以上
13	団体展開競技	1チーム6名 男女混合可	躰道ルールブックに基づき実施	5級以上

※【実戦競技の延長に関して】個人実戦における3決・決勝のみ有り(壮年含む)。

※延長は1試合1回のみとし、延長時間は原則1分間とする。

※壮年 大会当日時点で満40歳以上

【注意事項】

- ※1 壮年実戦競技は40歳以上とする。※大会当日時点で満40歳以上とする。
- ※2 個人実戦競技への出場は1種目までとし、段位・壮年の両方の出場は不可とする。
- ※3 個人法形競技への出場は1種目までとし、複数の個人法形競技への出場は不可とする。
- ※4 団体展開は選手6名でチーム編成を行ってください。（男女混合可）
- ※5 団体展開競技に出場する選手は剣道着の背面部に背番号のゼッケン（主役＝主・旋技＝1・運技＝2・変技＝3・捻技＝4・転技＝5）を取り付けてください。※算用数字
なお、背番号ゼッケンの大きさは、約20cm四方とし、白い布地に黒字とします。
主役は頭にハチマキを巻いて下さい。※ハチマキの色、デザインは自由、幅5cm程度
長さは結んで肩に付かない程度。
- ※6 団体競技は申込チーム数が8チームを超えた場合、実行委員会で抽選を行うことがあります。
- ※7 団体競技の選手構成は県地区をまたがないこととし、同一地区での構成としてください。
- ※8 団体競技の出場数は1地区2チームを上限としてください。
- ※9 団体競技のチーム名は申込書に選手をまとめてチーム名を記載してください。
チーム名は「地区名」とします。※同一地区内で複数ある場合はA・Bで分けること
- ※10 申し込み数が個人戦は2人以下・団体戦は1チームのみの場合は競技を実施致しません。

【出場資格】

日本剣道協会に登録されている者で、「一般会員」は令和8年度6月迄の協会費、
「正会員」は令和8年度の正会員費が支払い済みで、大会時に出場費が支払われている者。
会員は最低3ヵ月間の在籍とし、令和8年6月から登録されていること。
全国社会人剣道優勝大会への参加は小・中・高校・大学生は不可とする。
また上記の支払いを行っているものとする。

【出場制限】

1名3種目の出場を上限とし、個人種目は2種目、団体種目も2種目を上限とする。
※個人種目もしくは団体種目のみの3種目出場は不可と致します。
個人競技への参加は実戦・法形 各1種目ずつのみを上限とする。

【大会出場費】

一律7,000円（保険料込み）
※申し込み後の欠場の場合、大会出場費の返金は致しません。
※補欠の申し込みは出場種目数にカウント致しません。

【申し込み】

各地区剣道協会ごとでまとめていただき、お申し込みください。※道場単位はNG
必ず出場費を添えて令和8年7月23日(木)までにお申し込みください。
※添付の申し込み書(Excel)でお申し込みください。

【集合時間】

入館：8時00分～※役員・審判 選手 他 全員入館可 ※役員・審判 優先
入館次第：8時15分～役員打合せ
8時15分～審判打合せ
8時45分～大会・審判諸注意
9時00分～予選開始

【その他】

- ① 日本剣道協会公認の剣道着を着用すること。剣道着の背面に所定のゼッケン以外のものを付けたり左胸上の剣道の文字位置に他のものを付けたり、袖口を短く切った場合は出場を認めない。
- ② 出場選手は大会当日、「健康保険証」を持参すること。
- ③ 実戦競技では胴プロテクターを着用すること。顔面プロテクターは着用自由
- ④ 団体種目で補欠制度を適応します。

※平成26年9月5日の【棄権・ドクターストップ・補欠制度等に関する通知書】をご覧ください。

<http://taido.gr.jp/competition/alljp/info/alljp51.html>

- ・補欠のみの出場予定の場合、出場したら出場費が生じます。※申込みは不要。
- ・補欠選手が当日出場することになった場合、必ず大会本部に補欠選手が出場する旨を申し出て下さい。出場費が必要な選手(補欠のみの選手)は大会終了後、7日以内に出場費を支払うようにして下さい。

- ⑤ 宿泊希望者は、各自で予約して下さい。
- ⑥ 本大会参加の個人情報および肖像権に関わる取り扱いに関して。
参加申し込みに記載された個人情報については大会プログラムへの掲載、競技場内外の試合結果などへの掲示及び選手紹介、アナウンス、ホームページなどへの試合組み合わせや結果の表示、大会結果を掲示するための広報への情報提供に使用いたします。
～競技記録の取り扱いについて～
大会の結果は協会ホームページや広報（公の機関を含む）などで公開。
大会記録として保管され、記録をして上位入賞者はパンフレットなどへ掲載。
～肖像権の取り扱いについて～
協会が認めた撮影者が撮った大会の写真やコメントなどは協会ホームページや広報（公の機関やポスター、小冊子などを含む）などで公開。
※日本剣道協会及び大会実行委員会は取得した個人情報を上記の使用目的以外に使用することはありません。また、試合の参加申込書の提出により、上記の取り扱いに関するご承諾を得たものとさせていただきます。

- ⑦ 所属団体ゼッケンに関しては企業名ではなく、地区名での統一とします(全日本選手権に準ずる)
出場選手は全員、剣道着（背面）に県地区名を記入したゼッケンを付けてください。
（例：「宮城県」や「東京城東地区」など）
 - ・注意1：実行委員会が提示した企画以外のものは認めません。
 - ・注意2：ゼッケンを付けていない選手の出場は認めません。
 - ・注意3：団体競技のゼッケンの上位置に県地区名のゼッケンを付けてください。

※ 企業名に関しては申込書の項目からも削除しトーナメントへの記載も行いません。
トーナメントは所属地区で統一いたします。

【振込先】

大会出場費は期日までに下記へお振込ください。

・銀行振込 〆うちよ銀行 〇19(セロイチキウ)店 当座〇〇40646

特定非営利活動法人 日本剣道協会

【申し込み】

申し込み・お問合せは日本剣道協会へお願い致します。

〒164-0011 東京都中野区中央5-38-13 エスエス10 A702

TEL 03-5342-2322 FAX 03-5342-2321

e-mail: office@taido.gr.jp

全国社会人躰道優勝大会 栄光の記録

		団体法形	法形競技 新人の部	法形競技 級位の部	法形競技 男子段位の部	法形競技 女子段位の部	命の法形競技 有段者の部	命の法形競技 新人・級位の部	制の法形	自由法形	団体実戦 男子の部	団体実戦 女子の部	実戦競技 男子の部	実戦競技 女子の部	実戦競技 壮年の部	殊勲賞	敢闘賞	技能賞	最高師範杯
第25回	優勝 第2位 第3位	品格の浜町 創玄会2015 正統館	寶川有華 星野菜穂子 川俣貴弘	佐藤 誠 大工原みゆき 佐藤直子	中野 哲爾 坂本邦彦 佐々木秀彰	瀬藤 有希 平山愛子 萩野真智子	田部英知 島宮 満 芝波田邦博	佐藤 誠 新川 浩之 山路祐美子	堀米 遼太 金子 智一 油井 陽	中嶋 晶子 茂野 元博 丹野喜美男	己鍊館チーム 愛知県チーム 山梨県チーム		金子 智一 坂本 稔 佐々木拓真	山際 真穂 奥山みなみ 清水よしえ	土井光司 島宮 満 千葉健志	瀬藤有希	佐藤 誠	土井光司	金子 智一
第26回	優勝 第2位 第3位	品格の浜町 優勝14名選手が個人、この日に個人戦あり デスティニーノチーム	星野菜穂子 藤原政嗣 成島富美子	大工原みゆき 風岡史乃 櫻岡 育	嶋本幸之助 上原弘之 宮下 宏紀	瀬藤 有希 平山愛子 奥山みなみ	刀禰 伯彬 芝波田邦博 荒井 和美	山路祐美子 櫻岡 育 風岡史乃	金子 智一 内山仁志 北澤秀明	内山 仁志 丹野喜美男 小関 宗伸	チーム己鍊館 チーム創玄会 愛知県チーム		金子 智一 佐々木拓真 土井嘉津也	瀬藤 有希 山際 真穂 市原 智	千葉 健志 土井光司 二ノ宮健	金子 智一	内山 仁志	瀬藤 有希	千葉 健志
第27回	優勝 第2位 第3位	品格の浜町 多摩の名は。 チーム実戦多摩ですになっても練習	大橋友紀恵 亀井 良	町田啓允 近藤みづき 榎本 至	名倉崇広 嶋本幸之助 上原弘之	瀬藤 有希 稲見安希子 飯田桜子	田部英知 土井光司 芝波田邦博	風岡史乃 榎本 至 谷口嘉直	北村幸則 金子智一 堀米遼太	小関宗伸 花岡拓海 鈴木智行	愛知県チーム 山梨正統館 創玄会		油井 陽 本田拓馬 佐々木拓真	稲見安希子 山際真穂 飯田桜子	二ノ宮健 千葉健志 土井光司	二ノ宮健	土井光司	稲見安希子	山際真穂
第28回	優勝 第2位 第3位	創玄会 正統館 east village mountain	大橋友紀恵 長縄 裕太 山口 千鶴	町田 啓允 星野 菜穂子 風岡 史乃	上原 弘之 名倉 崇広 齋藤 健太	稲見 安希子 瀬藤 有希 飯田 桜子	土井 光司 島宮 満 荒井 和美	星野 菜穂子 榎本 至 風岡 史乃	金子 智一 堀米 遼太 油井 陽		創玄会 北里舞踏団 横浜道場withO	祝☆市原家応援隊 チーム緑～ENISHI～ 関東婦人会	金子 智一 佐々木 秀彰 油井 陽	山際真穂 植田 美輝子 平山 愛子	島宮 満 土井光司 二ノ宮健	金子 智一	稲見 安希子	上原 弘之	土井光司
第29回	優勝 第2位 第3位	東京多摩 埼玉県 浜町道場	佐藤春馬 湊 茂治 小田圭介	星野 菜穂子 藤原政嗣 土志田愛	上原 弘之 齋藤 健太 嶋本幸之助	稲見 安希子 瀬藤 有希 平山 愛子	土井 光司 島宮 満 北原喜代志	星野 菜穂子 谷口嘉直	金子 智一 湊 宏司 高崎健一		福岡道場 創玄会 東京多摩	己鍊館 東京城西	湊 宏司 金子 智一 土井嘉津也	田畑麻夜 植田 美輝子 稲見安希子	土井光司 山田大輔 中谷靖	土井光司	稲見 安希子	金子 智一	湊 宏司 上原 弘之
第30回	優勝 第2位 第3位		大越 晴斗 川元 亘 藤本 武道	大橋 友紀恵 生井 麻結	名倉 崇広 浦島 啓 日名地 亮太	稲見 安希子 木勢 茉莉 山際 真穂	小林 真由 星野 菜穂子 北原 喜代志		金子 智一 堀米 遼太 大角 卓寛		己鍊館A 己鍊館B 創玄会	城西&城南 己鍊館	金子 智一 堀米 遼太 坂本 稔	山際 真穂 木勢 茉莉 稲見 安希子		山際 真穂	稲見 安希子	名倉 崇広	金子 智一
		法形競技 新人の部	法形競技 級位の部	法形競技 男子の部	法形競技 女子の部	命の法形競技 新人・級位	命の法形競技 段位の部	制の法形	団体法形	実戦競技 男子の部	実戦競技 女子の部	壮年実戦 男子の部	壮年実戦 女子の部	団体実戦 男子の部	団体実戦 女子の部	団体展開			
第31回	優勝 第2位 第3位	大越 晴斗 川元 亘 周 郁強	海老原 魁 村田 哲彦 湊 茂治	斎藤 健太 山口 海斗 名倉 崇広	木勢 茉莉 稲見 安希子 八木橋 みづき		島宮 満 星野 菜穂子 奥谷 真美	石井 元樹 小矢島 皓平 金子 智一	創玄会 港区道場 新潟県	油井 陽 大島 悠太郎 湊 浩司	木勢 茉莉 稲見 安希子 猪俣 雛	土井 光司 二ノ宮 健 松本 昇平	シモン 麻夜 小林 真由 星野 菜穂子	創玄会 己練館B 己練館A	己練館A 東京城西地区 己練館B		殊勲賞 敢闘賞 技能賞	石井 元樹 大越 晴斗 土井 光司	最高師範杯 木勢 茉莉
第32回	優勝 第2位 第3位	伊東 真良 白井 大晴 広沢 佳信	川元 亘 大越 晴斗 押川 美鈴	阿部 舜 勝山 敬介 金子 智一	稲見 安希子 木勢 茉莉 大越 美咲	山本 芳江 福井 順 清田 隆子	土井 光司 島宮 満 星野 菜穂子	金子 智一 堀米 遼太 木間 一紀	船橋市 東京多摩 玄友会	佐々木 尚希 土井 嘉津也 林 元	山際 真穂 猪俣 雛 木勢 茉莉	木間 一紀 大江 潤 塚中 正法	シモン 麻夜 塚中 久代 多田 倫子	静岡県西部 船橋市A 船橋市B 東京城西		殊勲賞 敢闘賞 技能賞	宇野 友季子 川元 亘 稲見 安希子	最高師範杯 佐々木 尚希	
第33回	優勝 第2位 第3位	趙 誠俊 大森 悦子 高橋 大祐	大越 晴斗 川元 亘 伊東 真良	石井 元樹 齋藤 健太 小林 将也	稲見 安希子 木勢 茉莉 八木橋 みづき	山本 芳江 本間 織絵 高橋 大祐	島宮 満 土井 光司 星野 菜穂子	金子 智一 堀米 遼太 木間 一紀	埼玉県 新潟県 東京多摩	木村 雅和 金子 智一 佐々木 尚希	稲見 安希子 山際 真穂 木勢 茉莉	木間 一紀 土井 光司 中嶋 尚平	シモン 麻夜 塚中 久代 大橋 友紀恵		千葉県A 千葉県B	殊勲賞 敢闘賞 技能賞	木村 雅和 大越 晴斗 佐々木 尚希	最高師範杯 稲見 安希子	
第34回	優勝 第2位 第3位	山岸 優衣 薩山 生真 齋藤 翔太郎	川元 亘 大越 晴斗 伊東 真良	石井 元樹 齋藤 健太 名倉 崇広	佐藤 杏優 稲見 安希子 長谷川 桜子	山本 芳江 遠藤 秀香 福井 順	島宮 満 奥谷 真美 星野 菜穂子	木間 和也 木間 一紀 堀米 遼太	東京城南A 千葉県A 千葉県C	佐々木 尚希 金子 智一 油井 陽	木勢 茉莉 佐藤 杏優 八木橋 みづき	木間 一紀 大江 潤 中嶋 尚平	シモン 麻夜 塚中 久代 内村 悦子		千葉県A 千葉県B	殊勲賞 敢闘賞 技能賞	奥谷 真美 佐々木 尚希 佐藤 杏優	最高師範杯 木勢 茉莉	



✓ 所在地・連絡先

- 埼玉県所沢市中富1614番地の2
- TEL: 04-2943-2295
- TAX: 04-2943-2298

✓ バスでお越しの場合

- 新所沢駅東口発 所沢ニュータウン行き終点下車徒歩8分
- 航空公園駅発 新所沢駅行き「市民武道館」下車徒歩1分

※駐車場はございますが駐車台数に限りがございます。

※公共交通機関のご利用にご協力ください